

永福南小学校の学校関係者等との意見交換会

永福南小学校の保護者の方々を対象に、下記の日程で「学校適正配置に関する意見交換会」を開催しました。

意見交換会及び後日意見用紙にて寄せられた主な意見等を掲載しています。

* 掲載内容は、意見交換会などを通して、学校関係者に配布した資料と同様です。

《意見交換会開催日時》

① 7月2日(木) 10:00～

② 7月3日(金) 19:00～

③ 7月4日(土) 10:00～

④ 7月4日(土) 13:30～

[意見用紙提出期間:7月2日(木)～7月13日(月)]

[会場:永福南小学校]

1. 基本方針について

No.	主な意見の概要	回答
1	適正配置は、長期的かつ計画的に進めてほしい。	現在は、区内の児童数の増減に偏在が見られるため、今後の児童数の動向を見極めたうえで、区全体の長期計画を立てていく考えですが、当面、平成25年度までの間は、特に小規模校化した学校について適正配置を進めてまいります。
2	適正配置については、5年という短期間ではなく、もっと時間をかけて慎重に対応していくべきである。	基本方針で示した平成25年度までの取組の考え方は、この間に適正配置をすべて完了させるというのではなく、特に小規模校化した学校を、一定の規模にすることを最優先に進めるというものです。慎重に対応すべきことは勿論ですが、適正配置に向けての方向性が定まった場合は、統合までの期間は極力短くし、早期の実現を目指すべきと考えています。
3	適正配置を行う前に、通学区域や学校希望制度の見直しを行うなど、他に方策がないか検討してほしい。	永福南小の近隣校を含めたこの地域全体で児童数が減少しており、今後も大幅に増えることは見込めません。また、学校希望制導入前から指定校変更の申請件数が増加傾向にありました。こうしたことなどを考え併せると、学区域の変更や学校希望制度の見直しを実施しても、既存の各小学校について一定の児童数を将来にわたって確保することは難しいことから、この地域においては、統合等に

		よる適正配置が必要と考えます。
4	小規模校を減らしていくと、大規模校の児童数が増えていく。少子化により適正配置が必要であるならば、まず先に大規模校から進めるべきである。	小規模校を減らすことにより、大規模校の児童数がさらに増えることのないように近隣校の状況を踏まえ適正配置を進めていきます。現在、区内の学齢人口は、地域によって偏在が見られるため、大規模校については、向こう5年間の学齢児童数の推移を見極め、5年後に行う予定の基本方針改定に合わせて、必要な対応を図っていく考えです。

2. 統合案について

No.	主な意見の概要	回答
5	統合した場合、築35年の校舎(永福小)を改修して使用するよりも、全体のコストが安くて済む永福南小の校舎を使用してほしい。築年数が浅い学校を先に廃校するのは矛盾を感じる。	児童にとっての心身の負担や安全面からみると、通学距離の児童への影響は大きいものと考えています。こうした点を考慮(概ね半径1kmの範囲)して、校舎は永福小を使用するという案をお示したものです。なお、この場合には、教育環境を向上させるために必要な改修等を実施してまいります。
6	校舎については、増改築よりも、思い切って児童数の受け入れが多い小学校を新築してもいいと思う。	区民からお預かりした貴重な税金で建設した建物であることを踏まえ、建物の耐用年数等を考慮しながら、区有財産の有効活用という観点に立って検討してまいります。
7	今後、新生児の減少が予想される中、下の子どもをたった1、2年のために入学させなければならないことも大変心配である。	仮に危惧されているような新生児の減少があった場合でも、統合までの間は、両校の教員による共通理解を深め、学習の連続性を十分確保するなど、児童のことを最大限配慮した教育を実施してまいります。また、統合する相手校の児童との交流も頻繁に行いながら、統合前から良好な人間関係を築いていけるよう努めてまいります。
8	今後、相手校の関係者への説明はどのように行うのか。	永福南小の関係者と同様に順次 PTA、町会、地域支援者との意見交換を行いながら、理解を求めてまいります。
9	統合する方向で進めるのであれば、速やかに統合した方が、負担が少なくてよいと思う。	統合する相手校の関係者との意見集約や統合決定後の子どもたちの交流の時間、施設整備など一定の期間は必要となりますが、できる限り速やかに進めていきたいと考えています。
10	統合にあたって、永福小が快く受け入れてくれるのか大変不安である。	永福小関係者の方々に対しても意見交換等を行い、十分意見をお聴きし、一緒に考えていけるような関係をつくって

	まいります。
--	--------

3. 適正配置の進め方、今後のスケジュールについて

No.	主な意見の概要	回答
11	適正配置が、最短で平成24年4月となると、自分の子どもは3年生までしか永福南小に通えない。いずれは区外への引越しを考えているが、計画の前倒しだけは絶対にしないでほしい。	統合までの児童・教員の交流期間や使用する校舎の改修等に要する工事期間などを考慮すると、平成24年4月よりも前での統合は考えていません。
12	永福南小の適正配置は、最短で平成24年4月の予定とのことだが、それが確定するのはいつか。	今後の関係校間での意見集約が進み、統合する相手校が決まった場合、対象となった学校関係者の意見を聞きながら、「学校適正配置計画」を作成していくこととなります。その中で統合時期も定める予定ですが、その計画を今年度中(平成22年3月まで)には決定したいと考えています。
13	本音を言えば、歴史を刻んできた学校であることをよく知らない人たちが、簡単に廃校を決めてしまうことに納得できない。	学校のこれまでの努力、歴史・伝統、校風は尊重したうえで、それらを受け継ぎつつ、今後数十年先を展望した新しい学校づくりに向けて取り組んでいるものですので、ご理解ください。

4. 児童への対応について

No.	主な意見の概要	回答
14	統合までの期間は、子どもたちの教育環境が悪化しないよう配慮してほしい。	統合までの間は、両校の教育課程を可能な限り調整し、合同授業や学校行事の交流、合同研修会等により、児童や教職員の相互理解に努め、教育環境が悪化することがないように十分に配慮してまいります。
	今まで永福南小では行えた教育活動が、適正配置後の学校ではできなくなるのではないかと。特に、やる気や学力の低下につながることは、絶対に避けてほしい。	一定規模の学校となることで、より多様な考え方に触れる学習活動や活力のある学校行事など、これまで以上に子どもたちの意欲・興味・関心を高める教育活動が行われるものと考えています。なお、これまで永福南小で行われてきた教育活動は、統合する学校との間で調整し、児童のやる気や学力の低下につながることを避けるよう努めてまいります。

		す。
16	適正配置を行うのであれば、永福南小の子どもたちの心のケアを考え、適正配置後数年間は、最大1クラス25名までの少人数クラスを設けてほしい。これが実現できないのであれば、適正配置を知らずに入学した児童が卒業するまでは、永福南小の存続を希望する。	現在区では、きめ細かな指導が実現できるよう、1～4年生までは区独自採用の教員を活用した30人程度学級を実施しており、5・6年生については、より多角的な見方による学習の展開や、多様な仲間との触れ合いによる人格形成を基本として40人学級を実施しています。この他にも、クラスを超えた少人数指導や、習熟度別指導などを取り入れ、少人数の良さを活かした学習形態によるきめ細かな対応を図っていますので、ご理解ください。
17	最短で平成24年4月に統廃合ということだが、下の子を廃校になる学校に入学させたくない。現在、在籍している上の子も統合が決定した時点で転校させたい。	永福南小と相手校との統合が行われるまでの間は、永福南小において、児童のことを最大限配慮した教育を実施してまいります。転校を希望される児童の対応については、今後検討し、早い時期にお知らせします。
18	統合時には、統合が決定した学校ではなく、別の学校を希望して転校できるように配慮してほしい。	全員で統合新校へ行っていただきたいと思いますが、別の学校へ行きたいという意向があれば、可能な限り尊重してまいります。
19	統合する場合、必ず永福南小の児童が同じ学校に行けること、また最終学年については、必ず全員が同じクラスになれること、さらに、担任の先生は永福南小から同じベテランの先生が着任できるようにしてほしい。	クラス配置については、様々な点を考慮したうえで、対応してまいりたいと考えています。統合前には、統合後の新しい環境にスムーズに適応できるよう、学習や生活面、学校行事等で児童の相互理解と交流を深めていきたいと考えています。また、教員の配置に関しても可能な限り考慮してまいります。

5. 財政面について

No.	主な意見の概要	回答
20	適正配置を行うことで、どの程度の財政効果があるのか。	<p>都費による教職員の給与等を除くと、1校あたりの年間維持経費は約1億5千万円かかります。区で採用している教職員等は他の学校へ配置することになるため、この金額の全額が減るものではありませんが、相当額の財政上の効果を見込むことができます。</p> <p>しかし、適正配置は財政面だけで進めているものではありません。今後急増する校舎の改築需要についても視野に入れながら、学校数が適正化されることで生まれた財源や資産は、教育内容の充実等に役立てていきたいと考えて</p>

		います。
21	校庭を芝生化している区内で一番新しい学校を使用せず、わざわざ永福小を改修して使用することについて疑問を感じる。	校庭の芝生化については、現に通われている子どもたちの教育環境を整えるために行っているものであり、決して無駄な投資であるとは考えていません。

6. 跡地利用について

No.	主な意見の概要	回答
22	統合後、永福南小の校舎はどのように利用するのか。	学校跡地等については、今後、地域の方々から寄せられるご意見等も踏まえ、地域の活性化や教育環境の向上などにつながるような有効活用を図っていく考えです。

7. 学校希望制度、新入学者への周知方法について

No.	主な意見の概要	回答
23	ここまで児童数が減少したのは学校希望制度が原因と考えるが、この制度はどのような目的で導入したのか。	永福南小の児童数減少の要因としては、全体的な少子化による影響が大きいと考えています。学校希望制度は、子どもたちや保護者の学校選択ニーズの高まりを踏まえながら、魅力ある教育活動の実現と開かれた学校づくりを進めることを目的に、平成14年度から導入したものです。
24	一般的に単学級はよくないと思われ、学校希望制度により大きく入学者数が減少している。	単学級の学校を避けて他の学校を希望する保護者がいることは事実ですが、学区内の年齢別住基人口数は、ここ数年30～40人程度で推移しており、仮に学校希望制度がなかったとしても単学級となる可能性が高いと考えています。
25	来年度も新1年生は入学させるのか。入学させるのであれば、保護者への適切な情報提供が必要である。	統合するまでの間は、新1年生の入学を制限することはありません。保護者の方々が噂や風評に惑わされ、不安を感じることはないよう、必要な情報提供に努めてまいります。
26	今回の意見交換を受けて、来年度以降は入学者数が激減すると思う。	天沼小の例で言えば、適正配置計画の公表後に入学者数が激減することはありませんでしたが、仮に減少したとしても、新入生、在校生に対して十分配慮した教育を行っていきます。

8. 永福南小学校の現状

No.	主な意見の概要	回答
27	永福南小は小規模校であるが、雰囲気もよく、また児童は異学年交流を行うことで、交流関係が広がっているため現状には十分満足している。	保護者の方々の学校に対する満足度は高いものと認識しています。高い評価をいただいている永福南小の教育活動の取組の成果を、今後の新しい学校づくりの中で活かしていきたいと考えます。

9. その他

No.	主な意見の概要	回答
28	今後、意見交換会を開催する際には、回覧、掲示板なども利用し、より幅広い周知に努めてほしい。また、先日の意見交換会で出た意見やそれに対する回答について、書面で配付してほしい。さらに、今回の意見用紙で出された内容についても、回答と合わせて保護者等に配布してほしい。	今後、意見交換会を開催する際には、より幅広い周知に努めます。また、意見交換会で出された意見や要望等については、それらに対する回答と合わせて、速やかに保護者の皆様へフィードバックするなどして、ご理解が得られるよう適切に対応してまいります。
29	以前、永福南小が廃校になるというわさを耳にし、区役所に確認したら、「永福南小は廃校にならない」ということだったので、子どもを永福南小に入学させた。新たな基本方針が本年2月に決定したが、その時に連絡をいただければ、子どもを永福南小に入学させずに済んだ。なぜ、この時期に公表したのか。	基本方針の改定にあたっては、関係者との意見交換や区議会等への説明、パブリックコメントの実施など必要な手続を行ったことから、改定時期が本年2月となってしまいました。もう少し早く公表できていればという点では、申し訳なく思いますが、児童数が確定していない2月の時点で、4月以降確実に、永福南小が検討対象校になることを、周知することができなかったことは、ご理解ください。
30	天沼小のアンケート結果を受けて、どのような対応をとったのか。また、今後どのように生かしていくのか。	友人関係の不安や通学距離が延びたことへの不安など寄せられた課題は、天沼小の方へフィードバックし、今後の学校運営に活かすとともに、教育委員会としても必要な改善を図っていく考えです。また、統合に関して寄せられた課題については、しっかりと内容を分析して今後の適正配置の取組にも活用してまいります。

31	天沼小のアンケート結果について、学年によって回答の傾向が異なると思う。特に1年生について知りたい。	アンケート結果の詳細は、区教育委員会ホームページにも掲載しているところですが、1年生の回答結果につきましては、次回の意見交換の場で改めてお示したいと思いません。
32	保護者として、子どもに対しどのように説明すればよいか。また、教育委員会としては、児童への説明方法をどのように行うつもりか。	

永福南小学校の保護者の方々を対象に、下記の日程で「学校適正配置に関する意見交換会」を開催しました。前回(7月2日～4日)の意見交換会や意見用紙で寄せられた意見を踏まえ、教育委員会として、永福小学校との統合について検討を進めていく旨の説明を行いました。

* 掲載内容は、意見交換会などを通して、学校関係者に配布した資料と同様です。

《意見交換会開催日時》

① 8月28日 10:00～

② 8月29日 10:00～

[会場:永福南小学校]

1. 適正配置の考え方・進め方について

No.	主な意見の概要
1	2年後に入学を控えた子どもがいるが、その時には、永福南小の児童数が少なくなっているのではないかという不安がある。複式学級になることは絶対に避けてほしいし、永福南小の入学者数をしっかり確保してもらいたいと思う。
2	統合しても5、6年生は40人学級なのか。少人数に魅力を感じ自分の子どもを永福南小に入学させたが、24年度には5年生となるので、40人学級となってしまう。
3	統合後の校名はどうなるのか。永福小に吸収されるような形となることには不安を感じる。
4	統合協議会とはどのような組織か。全保護者の意見を吸い上げた形となるのか、協議会のメンバーだけで話し合いを行うことになるのか。
5	何の情報もないままに永福南小に入学させてしまったという1年生の保護者もいるので、そのような場合は優先的に統合前に永福小に転校できるのか。
6	この辺りの地域は、永福南小が開校する前は永福小の学区域だったこともあり、永福小の卒業

	生や関係者が多い。統合協議会で、多数決で決めるようなことになれば不利になるし、永福小寄りの意見を優先する雰囲気にもなるのではないかといった不安がある。
--	---

2. 教育環境の整備について

No.	主な意見の概要
7	統合に伴い、永福小を改築する考えはないのか。
8	改築に係る経費のことも理解できるが、保護者の気持ちとしては、できれば校舎を改築して新しい雰囲気にしてもらえたらと思う。
9	規模の大小に関わらず、教員が子どもとどのように向き合うかというソフト面をもっと考えてほしい。
10	既存の校舎を小手先の改修にとどめるのではなく、将来を見据えた満足のいく校舎作りを確約してほしい。

3. その他

No.	主な意見の概要
11	学校希望申請が9月から始まるが、来年度の永福小の受入枠は何人か。また、永福南小学区から希望した児童については、優先的な取扱いはあるのか。